

資料 (2023.8.10)

## 岩手県内の水稲の出穂状況（8月9日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

### 1 水稲の出穂状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 8月9日現在の県全体の出穂割合は98%（平年差+5ポイント）となっており、終期（90%）の到達は平年より5日早い8月4日頃となりました。
- (2) 県内の水稲の出穂盛期（50%）は平年より3日早い8月1日頃となりました。

表 地帯別 水稲の出穂状況（各農業改良普及センター調べ）

地帯名	8/9現在の出穂割合 (%)					本年の出穂時期 (月/日) <sup>2)</sup>					
	本年	過年次同時期				始期	盛期	終期	平年差 (日) <sup>3)</sup>		
		平年	R4	R3	R2				始期	盛期	終期
北上川上流	97	92	81	100	93	7/30	8/2	8/4	-2	-3	-5
北上川下流	99	94	82	99	94	7/28	8/1	8/4	-4	-3	-4
東 部	96	87	76	98	92	7/28	8/1	8/6	-5	-4	-4
北 部	98	89	88	100	96	7/29	8/1	8/5	-4	-4	-5
県 全 体 <sup>1)</sup>	98	93	82	99	94	7/29	8/1	8/4	-3	-3	-5

1) 県全体…地帯別の水稲作付面積比による加重平均。

2) 出穂時期…始期：10%、盛期：50%、終期：90% の水田で出穂した日。

3) 平 年…平成25年～令和4年の10カ年の平均値。

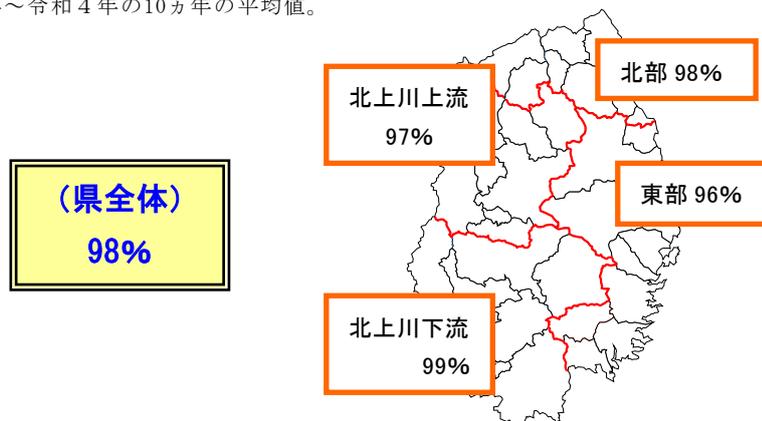


図 水稲の地帯別出穂割合（8月9日現在：各農業改良普及センター調べ）

### 2 当面の技術対策

#### (1) 水管理

- ・登熟期は間断かんがいとし、夜間入水を基本とします。  
⇒ 登熟前半に高温が続く場合は、根の活力維持のため、水の入替え頻度を多くします。
- ・早すぎる落水・過乾燥は、根の活性低下や茎葉の枯上りなどを招き、玄米品質の低下（白未熟粒・胴割粒の増加等）につながるのを避けます。完全落水の目安は、出穂後30～35日です。

#### (2) 穂いもち防除

上位葉に葉いもちが見られる場合は、直ちに茎葉散布による防除を開始し、穂揃期1週間後まで7～10日間隔で実施します。

#### (3) 斑点米カメムシ防除

薬剤防除の適期は、穂揃期の1週間後です。なお、地域一斉に防除すると効果が高まります。

#### (4) 刈取りに向けた準備

適期刈取りがスムーズに行えるよう、収穫機械・乾燥施設の点検、利用計画の策定を行います。